

2010年6月22日
トピー工業株式会社

中国乗用車用ホイールの生産拠点を完全子会社化

- 独資化によりスピーディーな経営を展開 -

トピー工業株式会社（本社：東京都品川区、社長：清水良朗、以下「トピー工業」）は、自動車・産業機械部品事業において、中国福建省で乗用車用スチールホイールを製造・販売する福建源興トピー自動車零件有限公司の持分を追加取得し、完全子会社化いたしました。これに伴い、会社名を福建トピー自動車零件有限公司（以下「福建トピー」）と変更する予定です。

中国の自動車産業は、世界的な不況のなかでも成長を続け、2009年には世界第1位の市場規模となりました。今後も所得水準の向上を背景に、都市部を中心に乗用車購買層の着実な増加が見込まれており、自動車販売台数は2010年に1,500万台、2015年頃には2,000万台レベルに達するものと予想されています。このような状況下、日系自動車メーカーは、相次いで生産能力の増強を打ち出し、中国市場でのシェア拡大を図っています。

トピー工業は2003年に現福建トピーに34.0%の出資を行い、日系自動車メーカー向けを中心に中国におけるホイール事業の展開を開始しました。2009年4月には、成長著しい中国市場における事業基盤の強化のため、出資持分を83.3%まで引き上げ、子会社化いたしました。今後、トピー工業グループのホイール事業のグローバル戦略を展開する上で完全子会社化が最善と判断し、このたび持分を追加取得し、完全子会社化いたしました。この完全子会社化により、独自の意思決定を一層的確かつ機敏に行う経営体制を構築し、トピー工業グループの中国におけるホイール事業の基盤をより強固なものにしていまいります。また、商号を福建トピーに変更する予定です。

トピー工業は、独自の軽量化技術を活かし、「世界トップクラスの総合ホイールメーカー」として、あらゆる種類のホイール（素材面：スチール製・アルミ製／用途面：乗用車用、トラック・バス用、特殊車両用、建設機械用）を生産・販売しております。これからもトピー工業は、他社に先駆けて先進的な技術に裏付けされた高性能ホイールを開発し、グローバルサプライヤーとしてのプレゼンスをさらに高めてまいります。

以上

<ご参考>

【福建トピー自動車零件有限公司の概要】

会社名： 福建トピー自動車零件有限公司（福建東碧自動車零件有限公司）【変更予定】
所在地： 中華人民共和国福建省福州市閩侯縣青口投資区
資本金： 2,345万USドル
出資比率： トピー工業株式会社 100%
代表者： 董事長 金森 豊（トピー工業株式会社 常務取締役プレス事業部長）
事業内容： 自動車用スチールホイールの製造・販売
売上高： 166百万人民元（2009年実績／12月決算）